

2017年11月度（第355回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2017年11月16日（木）14:00～17:00

開催場所：東京慈恵会医科大学 学術情報センター
（東京都港区西新橋 3-25-8）

参加人数：9名

内容：東京慈恵会医科大学 施設見学（図書館・標本館・資料館）

記入者：日本化薬（株）木村 睦子

図書館

学術情報センターの阿部先生のご案内の元に図書館を見学させていただきました。

先生のご説明によると、歴史ある建物の限られたスペースの中、医学の新刊書は基本的にはすべて購入されるとのこと（年間約3000冊）

関連書籍・雑誌の管理や利用者対応・研修を少人数のスタッフで効率的に運営されている様子や1900年代初頭からの歴史的にも貴重な書籍の数々、また、実際には在学生だけでなく卒業生からの検索依頼にも対応されている状況（年間約200件）を拝見させていただきました。図書券施設としては、今後、大学の周年記念事業に合わせて改築の予定とのことでした。

標本館

本来在学生・OB以外には非公開の施設ながら、今回特別なお配慮により貴重な献体から作成されたものを初めとした数多くの標本各種を実際に見学させていただきました。

ご担当の杉本先生からご説明をいただき、ホルマリン漬けの人体標本だけでなく、例えば血管内に樹脂を注入後に血管そのものを溶解することで色分けされた静脈・動脈の各血管走行状況の標本や特殊な疾患の臓器等の人体標本、更には動物標本や寄生虫の標本などの実物を見学することが出来ました。

資料館

大学創始者の高木兼寛先生に関する資料館を見学するにさしあたって、NHKのドキュメンタリー番組の映像を拝見してから、高木先生関連の資料やゆかりの品々の展示を見学させていただきました。

展示された先生のご経歴の中でも、特に、ドキュメンタリーでも取り上げられていた、明治時代、感染症とされていた脚気に対する食事療法効果を確認するための実証実験航海航路や実際の実験食の献立写真、更に、爵位を授与された関係での男爵服の実物やイギリス留学時に授与されたメダルの実物の展示等を興味深く拝見致しました。

今でも、定期的に先生の出身地の児童・生徒の代表者が同大学に受け入れて、大学施設の見学を行うなど、地元との緊密な関係を続けているとのことでした。

以上、最後になりましたが、貴重な資料や施設の見学の機会を得られたことに関しまして改めて御礼申し上げます。